

位置図



都市化と街づくりの調和を目指して

上院調節池計画の概要

写真



周辺案内

伝統や文化に触れる施設や、
散策を楽しむのに最適な周辺エリア。



古瀬田川緑道



親水公園



慈恩寺

埼玉県 中川・綾瀬川総合治水事務所

〒344 埼玉県春日部市緑町5丁目5-11

TEL.048(737)2001 FAX.048(739)1435

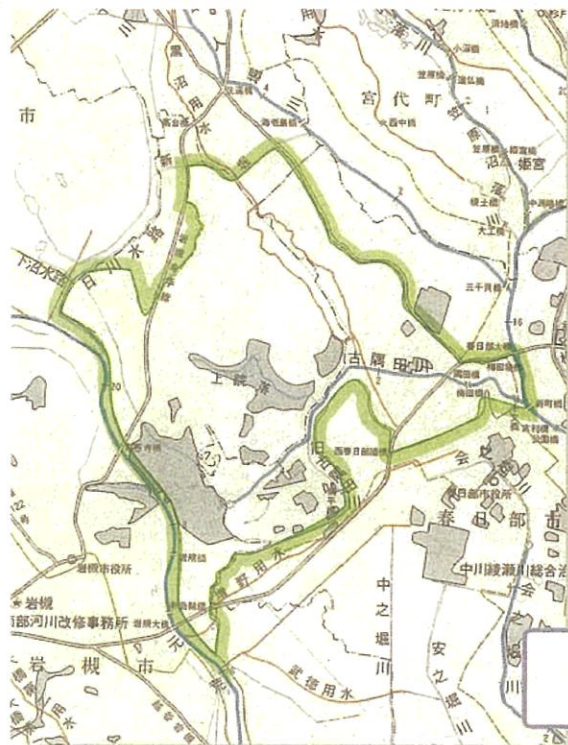
H9.2.2000.



中川・綾瀬川総合治水事務所
Naka-gawa Ayase-gawa Flood Control Office

流域の概要

都市化に伴い水害が増す古隅田川流域



古隅田川は、埼玉県岩槻市古ヶ場を源とし、旧古隅田川や上院落などを合わせ、春日部市で大落古利根川の右岸に合流する一級河川です。流域面積は約14km²、埼玉県が管理する区間の延長は約4.8kmになります。

流域の地形は比較的地盤の高い地域が約6割を占めていますが、地盤が低く河川氾濫の被害を受けやすい低地部には、東武野田線・伊勢崎線、国道16号などの主要交通網が通り、都市化により人口・資産が集中しており、台風や大雨による被害を受けやすい状況にあります。

このような現状を改善するため河川環境を考慮した上で、河川改修や洪水調節池の整備を進めていく必要があります。

平成3年9月
台風18号による浸水区域

昭和61年8月 台風10号で洪水被害を受けた市街地



完成予想図



※これは、現時点の完成予想図です。施設の配置や池内の利用については、変更の可能性があります。

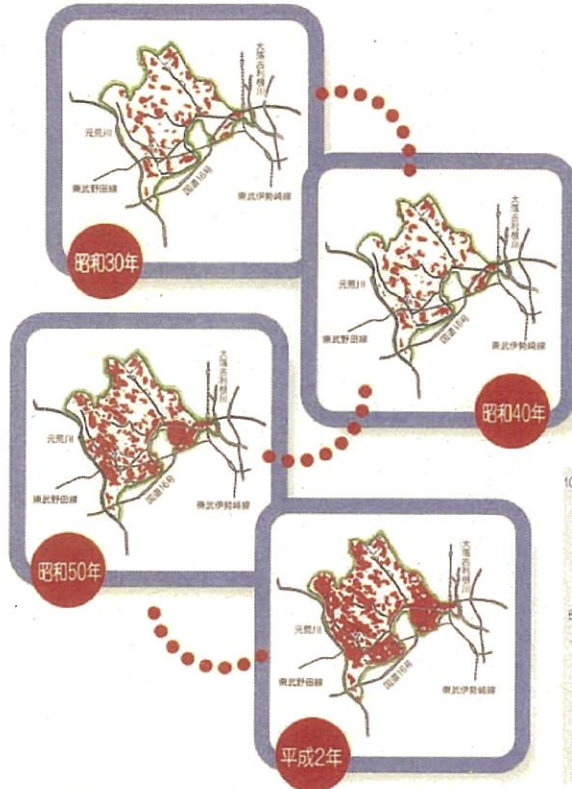
多目的利用

ゆたかな生活環境を目指して

上院調節池は、洪水の調節施設として建設されるばかりでなく、防災空間として、又、地元の人々がふれあえる多目的広場としての利用も考えられます。

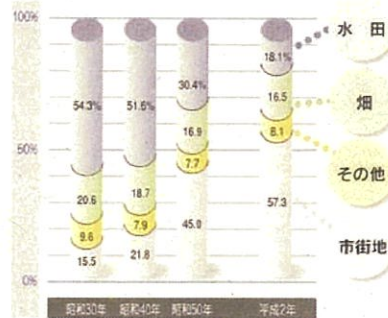


都市化の変遷



昭和30年代までの古隅田川流域は、水田を中心とした農地が大半を占め、市街地率は2割程度でした。しかし、昭和40年代から急速に開発が進み、昭和50年代には約半分、現在では6割以上が市街化され、保水・遊水機能を有している農地が、大きく減少しています。

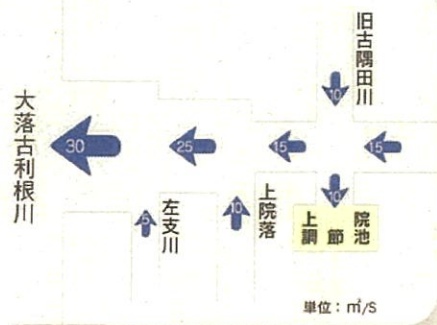
特に人口が集中する低地部では、近年でも昭和61年8月、平成3年9月、平成5年8月と大きな浸水被害が発生しています。



河川改修計画の概要

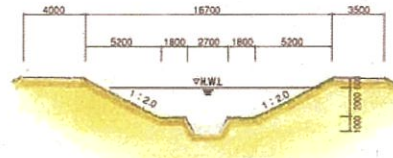
現在の古隅田川改修計画では、10年に一回程度起こる大雨(217mm/48hr)を想定していますが、将来的には100年に一回程度起こるような大雨(355mm/48hr)でも被害が出ない対策を考えています。

具体的な改修内容は、合流先河川大落古利根川の洪水処理能力を考慮し、流域内の水田を主とした自然遊水機能の保全や開発に伴う流出抑制対策等の各種流域対策を含め、古隅田川流末の計画高水流量を30m/sとするような河道及び洪水調節池の整備をおこなうこととしています。

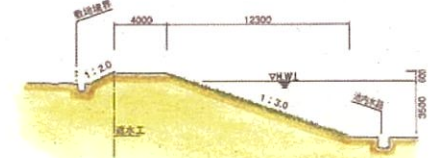


調節池計画の概要

古隅田川標準横断面



調節池標準断面



上院調節池平面図



※この図は、現在の計画案です。

調節池諸元

- 越流堤形式 自然流入方式
- 越流堤構造形式 コンクリート重力式
- 排水施設形式 自然排水+ポンプ排水
- 排水施設構造形式 樋管・ポンプ
- 附帯工 構造形式 遮水工
- 用地面積 約7.5ha
- 計画貯留量 200,000m³